

内発協推薦の飯伏育郎 氏（オーハツ(株)）が受賞

一般社団法人全国消防機器協会（会長・金森賢治氏）が主催して、「令和5年度 消防機器等関係者表彰式(全国消防機器協会 会長表彰)」が5月31日、東京・元赤坂の明治記念館「末広の間」で開催されました。今回、自家発業界からは内発協会長が推薦した飯伏育郎氏（いいぶし・いくろう＝オーハツ株式会社・取締役）が受賞しました。

表彰式では冒頭、金森賢治会長が式辞を述べました。その後、飯伏氏を含む受賞者52名全員に対し、金森会長により直接、「会長賞」の表彰状の授与と併せて、記念品の贈呈が行われました。続いて、来賓を代表して、消防庁次長の澤田史朗氏が祝辞を述べました。また、列席された来賓の紹介が行われました。日本消防検定協会理事長の市橋保彦氏、一般財団法人日本消防設備安全センター理事

長の北崎秀一氏、消防庁予防課設備専門官の明田大吾氏の3氏が名前を読み上げられた後、その場で起立してお辞儀をしました。

式典の後、会場を「曙の間」に移し、受賞者52名全員、来賓5名、主催者3名の計60名で記念撮影が行われました。引き続き、「曙の間」で全国消防機器協会が主催して、「表彰祝賀会・定時総会懇親会」が開催されました。今回の受賞者と同日に開催された定時総会の出席者を合わせて、約250名が参加しました。

冒頭で、金森会長の開会あいさつに引き続き、澤田消防庁次長による来賓あいさつ、全国消防機器協会の伊藤龍典副会長による祝辞、遠山榮一副会長による乾杯の発声で懇親へと移りました。押っ取り刀で駆け付けた受賞者の関係者も交えて、会場には談笑の輪が広がりました。

飯伏育郎氏は昭和42年（1967年）4月に非常用自家発電装置メーカー「大阪発電機株式会社（現オーハツ株式会社）」入社。昭和60年（1985年）まで検



表彰状を授与される飯伏育郎氏（写真左と下中央）

査課に、平成26年（2014年）まで品質管理部に勤務しました。平成28年（2016年）11月まで品質管理・技術部門を統括する執行役員を務め、同年12月～令和5年（2023年）6月現在、取締役を務めています。

入社以来55年間に、約6万台を超える非常用自家発電装置の製造・販売・設置・メンテナンスに携わってきました。また、消防法令に基づいた「非常電源としての自家発電装置」の普及促進・維持管理に取り組み、消防用設備への安全かつ安定した電力供給に尽力しました。長年にわたる功績が認められ、平成24年（2012年）、令和3年（2021年）の2回、内発協会長より、「功労者表彰」を受賞。そうした社外的な実績も高く評価され、今回受賞した一因になったとみられます。

なお、オーハツ株式会社では、消防機器開発普及功労者として、令和元年5月に「全国消防機器協会会長表彰」を、同年11月に「消防庁長官表彰」をそれぞれ芝谷康二社長が受賞しています。